

# 令和7年（2025）12月 入域観光客数概況（確定版）

86万2,800人  
対前年（R6）同月比 +4万6,400人、+5.7%  
～12月としては過去最高～

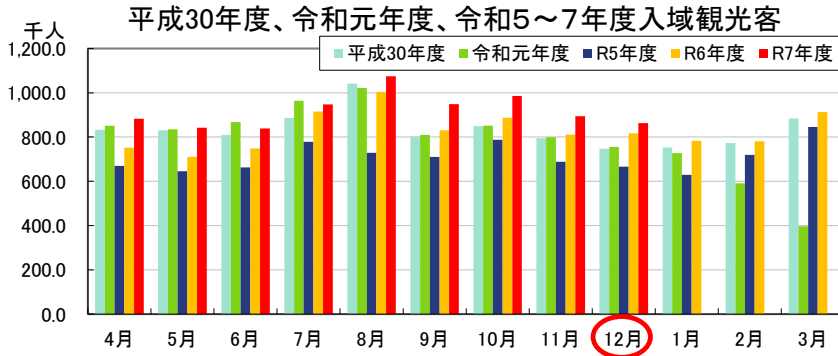
【更新履歴】①令和7年1月26日速報版公表  
②令和8年3月25日確定版公表  
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、3月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

## 入域状況

入域観光客数（R6年度と※R元年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	648,200人	612,300人	+35,900人	+5.9%	75.1%	572,700人
空路	645,900人	610,500人	+35,400人	+5.8%	74.9%	566,000人
海路	2,300人	1,800人	+500人	+27.8%	0.3%	6,700人
外国客	214,600人	204,100人	+10,500人	+5.1%	24.9%	182,400人
空路	162,700人	130,900人	+31,800人	+24.3%	18.9%	105,000人
海路	51,900人	73,200人	△21,300人	△29.1%	6.0%	77,400人
合計	862,800人	816,400人	+46,400人	+5.7%	100.0%	755,100人

※外国客には、海路における乗務員等18,600人を含む。



## 国内客 入域状況

12月は、引き続き修学旅行シーズンが続いたことに加え、年末年始の需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便や地方発着のチャーター便の運航があったことにより、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

## 国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	323,200人	298,400人	+24,800人	+8.3%	49.9%
関西方面	125,800人	125,000人	+800人	+0.6%	19.4%
福岡方面	83,900人	79,200人	+4,700人	+5.9%	12.9%
名古屋	56,200人	51,500人	+4,700人	+9.1%	8.7%
その他	59,100人	58,200人	+900人	+1.5%	9.1%
合計	648,200人	612,300人	+35,900人	+5.9%	100.0%

参考：国内線經由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	19,200	59%	14,100	56%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	3,200	10%	3,300	13%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	4,900	15%	4,100	16%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	400	1%	500	2%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	300	1%	100	0%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	4,800	15%	3,100	12%	
合計	32,800	100%	25,200	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出(推計方法が異なるため、年度比較に留意)。  
 ※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

12月は、年末年始の需要の高まりに加え、航空会社の那覇ーシンガポール路線(12月15日～)や那覇ー台南路線(12月25日～)の新規就航があったことのほか、台湾発着のクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年同月を上回った。特に、台湾・韓国からの観光客は過去最多を記録し、外国客総数においても過去最多となった。

- トピック ▶【台湾】タイガーエア台湾は那覇ー台中路線(3月30日～)を週2便で新規就航予定。
- トピック ▶【韓国】ジンエアーは下地島ー仁川路線(3月29日～)を週5便からデイリー運航に増便予定。また、下地島ー釜山路線(4月2日～)についても週2便で新規就航予定。
- ▶【香港】香港エクスプレスは那覇ー香港路線(3月29日～)を1日2便から3便に増便予定。また、石垣ー香港路線(3月29日～)もデイリー運航で運航再開予定。ただし再開当初はデイリーだが4月13日以降週4便。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	85,100人	62,600人	+22,500人	+35.9%	39.7%
韓国	57,700人	45,700人	+12,000人	+26.3%	26.9%
中国本土	7,500人	23,800人	△16,300人	△68.5%	3.5%
香港	21,900人	24,500人	△2,600人	△10.6%	10.2%
アメリカ	3,300人	5,700人	△2,400人	△42.1%	1.5%
タイ	2,800人	2,700人	+100人	+3.7%	1.3%
シンガポール	4,100人	4,300人	△200人	△4.7%	1.9%
その他	32,200人	34,800人	△2,600人	△7.5%	15.0%
合計	214,600人	204,100人	+10,500人	+5.1%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等18,600人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	69,700人	49,100人	+42.0%	42.8%	15,400人	13,500人	+14.1%	29.7%
韓国	56,000人	44,700人	+25.3%	34.4%	1,700人	1,000人	+70.0%	3.3%
中国本土	4,400人	7,900人	△44.3%	2.7%	3,100人	15,900人	△80.5%	6.0%
香港	17,900人	16,300人	+9.8%	11.0%	4,000人	8,200人	△51.2%	7.7%
アメリカ	2,700人	2,400人	+12.5%	1.7%	600人	3,300人	△81.8%	1.2%
タイ	2,600人	2,200人	+18.2%	1.6%	200人	500人	△60.0%	0.4%
シンガポール	3,300人	3,600人	△8.3%	2.0%	800人	700人	+14.3%	1.5%
その他	6,100人	4,700人	+29.8%	3.7%	26,100人	30,100人	△13.3%	50.3%
合計	162,700人	130,900人	+24.3%	100.0%	51,900人	73,200人	△29.1%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等18,600人を含む。

外国客の地域構成比

